

中国からフッ素製品輸入

東岳化工と代理店契約

朝日貿易

朝日貿易は二〇〇三年十二月、HFCやフッ素樹脂などのフッ素製品の生産で中国最大手となる山東東岳化工股份有限公司（山東省淄博市、

東岳化工）と日本国内における代理店契約を結んだ。朝日貿易では、中国が戦略物資と位置付けるフッ素製品の原料である蛍石を輸出制限し始めていることから、フッ素樹脂などのフッ素製品群の引き合いが今後、増加すると見込んでいる。フッ素製品の輸入で早期に年商十五億円規模のビジネスへと発展させる。

年商15億円規模に育成

東岳化工は一九八七年設立、資本金三千九百十万元、年間売り上げ八億元、工場などを含む敷地面積は七平方キロにおよび、すでにISO9002、同14001、同10012を取得済み。主な製品の現生産能力はフ

ロン22が八万ト、HFC32が一千ト、HFC152aが二千四百ト、フッ素樹脂が六千ト、無水フッ化水素酸（AHF）が四万ト、無機フッ化物が一万三千二百ト。そのうちフロン22は二〇〇四年四月に二万六千ト増の十萬六千トに、フッ素樹脂を同三月に四千ト増の一万ト

に、AHFを同四月に一万ト増の五万トとする設備増強が完了するほか、二〇〇五年には十萬トの自家発電設備も稼働する予定だ。一方、売り上げ面でも二〇〇三年実績の八億元を二〇〇五年には二十億元に、二〇一〇年には百億元企業の仲間入りを目指している。ま

た、朝日貿易は一九八八年設立の中国品を主とする貿易商社で、当初は肥料原料の扱いからスタートし、七八年前にカーバイド、染料など化学工業薬品に手を広げ、周辺分野の商材を順次拡大し

ている。東岳化工との代理店締結では、フッ素関連製品の粗原料となる蛍石が中国の戦略物資となつていて、輸出枠が減少していることに着目。日本国内でのフッ素関連製品の生産が蛍石確

保の問題から不透明感が強まると予測し、川下製

品となるフッ化水素酸やHFC、無機フッ化物、フッ素樹脂などの輸入販売に乗り出すもの。東岳化工からの調達で早期に十五億円レベルのビジネス構築を目指す。



東岳化工の外観